



＝ 親子農研に実がむすぶ ＝

龍神山の北のふもとにひらけた開拓村龍の口部落は、親父と息子が仲よく農業技術を研究しようと、親子農研研究会を作り、営農に工夫をこらしてそれぞれ立派な実績をあげているが、この写真の飯田 豊君(20)一家が、この春成功したピーマン栽培のイチゴ畑で、おそ霜におびやかされている四月中旬、ルビーのようなイチゴがなりこぼれている(写真いちご畑の飯田豊君)

昭和 33 年度一般会計予算

歳 入	33 年度	32 年度	備 考
1. 町 税	57,452,100	59,044,400	
①町 民 税	10,323,300	11,609,000	
②固定資産税	38,301,800	37,292,500	国有財産分 973,826円増 軽自動車分 179,000円
③自転車荷車税	609,000	2,550,900	税率改正による (2%増) 626,000増
④電 気 料	2,100,000	2,100,000	
⑤煙草消費税	5,918,000	5,292,000	
⑥木材引取税	200,000	200,000	
2. 地方交付税	43,000,000	31,061,000	1.5%増見込額 11,939,000
3. 公企業財産収入	12,800	12,670	
4. 使用料手数料	965,000	703,000	
5. 国庫支出金	4,254,100	9,637,100	統合小学校補助金見込額 2,500,000
6. 県 支 出 金	1,200,500	2,025,700	
7. 寄 附 金	100	100	
8. 繰 上 金	100	100	
9. 繰 上 金	2,000,000	50,000	
10. 雑 収	625,300	225,100	
11. 町 債	8,000,000	5,000,000	統合小学校建設費見込額 4,000,000 道路新設改良事業見込額 4,000,000
計	117,510,000	106,971,070	

歳 出	33 年度	32 年度	備 考
1. 議 会 費	2,179,500	1,894,000	人件費 1,755,000
2. 役 場 費	27,206,500	24,345,300	人件費 19,524,700
3. 消 防 費	6,264,600	5,540,980	人件費 1,113,300 消防ポンプ車 2,800,000 9台購入
4. 土 木 費	10,510,100	7,621,900	道路新設改良事業費 5,000,000 道路新設改良事業費見込額 2,000,000 道路新設改良事業費見込額 9,000,000
①役 務 費	1,360,100	1,691,900	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
②道 路 橋 梁 費	9,150,000	5,930,000	統合小学校建設費見込額 9,000,000 需用費 3,732,000 (E01,400増)
5. 教 育 費	45,813,900	45,977,700	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
①教育委員会費	2,131,500	2,067,300	統合小学校建設費見込額 9,000,000 需用費 3,732,000 (E01,400増)
②小 学 校 費	18,073,100	25,126,000	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
③中 学 校 費	5,428,800	5,791,900	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
④高 等 学 校 費	17,555,000	10,109,000	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
⑤公 民 館 費	2,017,900	2,194,400	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
⑥社 会 教 育 費	607,600	632,200	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
6. 社 会 及 勞 働 費	2,583,100	1,824,900	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
7. 保 健 衛 生 費	1,730,000	1,678,480	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
8. 産 業 経 済 費	8,885,700	7,911,340	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
①農業委員会費	3,168,900	3,034,200	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
②総合開発費	130,000	241,000	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
③勤 業 費	5,586,800	3,506,140	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
9. 財 政 費	281,300	271,300	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
10. 統 計 費	327,900	325,800	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
11. 道 路 費	552,900	102,500	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
12. 公 債 費	4,149,500	3,274,200	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
13. 諸 支 出 金	6,026,000	5,202,670	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
①徴 収 金	2,026,500	2,241,800	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
②繰 上 金	3,005,000	2,005,000	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
③諸 備 費	813,500	955,870	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
14. 予 備 費	1,000,000	1,000,000	人件費 1,197,000 需用費 4,807,500 (1,164,000増)
計	117,510,000	106,971,070	

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

国庫支出金五百三十八万円、県支出金 八十二万円などである。
地方交付税の一千九百九十三万円の増収は、昨年度基準財政需要額を基礎とし、本年度の増額分一・五%を見込んだもので、確定したものではない。
繰越金は昨年度の概算繰越金を見積ったものである。
町債の増は小幡統合小学校の計上、この中には統合小

小学校費に一千八百七万円を計上、この中には統合小

の建築と道路新設改良事業を見込んだもので、これも将来事業が確定してからでないとその金額は決定しない

役場費は人件費、一般事務費その他の需要費などで、この中には掲示板の新設費二十五万円、区長手当・区運営費に百五万円、広報費に四十六万円、各建物の火災保険料四十三万円などが含まれている

○歳出予算のあらまし
役場費は人件費、一般事務費その他の需要費などで、この中には掲示板の新設費二十五万円、区長手当・区運営費に百五万円、広報費に四十六万円、各建物の火災保険料四十三万円などが含まれている

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

今年も建設第四年はいり、やりたい事業は益々多くなったが、財源には限度があるので、今年予算はつとめて消費的経費を削減して建設的経費にふりあて、総合的に重点的に、しつかりした財源の範囲内で、という基本方針に立つて、①高等学校と小幡統合小学校の完成、②道路の整備改良、③産業の振

統合小学校の敷地買収費、整地工事費など、建築関係の費用が大きかったが、これら建築費関係の予算を除くと、小学校費は昨年度に比し二十六万六千九百円の増額となった。

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

三十三年度予算
総額 一億一千七百五十一万円
八郷高校は今年度で完成

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

地区別	目標額	達成額
柿 岡	39,850	40,330
小 幡	33,100	32,160
小 幡	29,550	31,560
小 幡	29,500	24,190
小 幡	24,000	23,600
小 幡	24,050	25,960
小 幡	22,800	23,600
小 幡	26,150	26,200
計	240,000	227,000

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

○歳入予算
昨年度に比し一千五百三十三万円の増で、一億一千七百五十一万円となっているが、増収の主なもの地方交付税で、一千九百九十三万円、繰越金 百九十五万円、町債 三百九十五万円、町税の 百七十九万円

二千二百八万円

險税がやすいところへ、保険税の徴収成績はあまり良好でなく、その上保険の利用者が日毎に多くなつていくため、保険財政はなかなか楽ではなかつた。しかし保険税は昨年増税したばかりなので、今年は増税を見合せ、そのかわり一般会計から三百万円を繰入れ、滞納保険税を出来る限り徴収する方針をとり、別表の予算で運営することになつた

れを合せて一千三百五十三万円余りを見込んでいる。それに国庫よりの療養給付費補助金が二百五十四万円見込まれるので、合計一千六百七十四万となりそれでもまだ九十五万円が不足する。この不足分は町の一般会計からの繰入金をふりあて、やつとOKというわけである。

こんなわけで現行の税率では、滞納繰越がなくなり一般

今年の予算に目をとおしていただくと、町から被保険者の皆さまにかえていく保険給付費は、一千七百三万余円が計上されている。これは間接に上つてくる診療費の一点

は保険税の増税を考えねばならないだろう。

ちなみに近隣市町村の現行保険税と、当町国保の給付内容を紹介しよう。

○医療費の給付

て計算したもので十分な見積りとはいわれない。

①お医者さんにかかるときは必ず受診証を提示して下さい。

②冢の人に異動があつたと
きは、すぐに役場（支所
でもよい）に受診証を持
つて来て訂正の手続きを
して下さい。

③ これを守らないとお医者さんにきらわれたり、あなた自身損をしたりしますから必ずお守り下さい。

(八 郷 町)

款	項	予 算 額	内 容
1.	国民健康保険税	13,536,100	現年度分 9,785,000円 滞納繰越分 3,750,000円
2.	一部負担金	250,100	滞納繰越分である
3.	財産収入	15,620	預託金などの利子
4.	使用料及手数料	70,100	保険税督促手数料など
5.	国庫支出金	5,188,980	
①	療養給付費補助金	2,540,000	療養給付費に対する国庫補助の見込額
②	事務費補助金	2,496,000	被保険者1人当り78・7円の割
③	保険婦補助金	152,980	1名につき38,220円4名分
6.	県支出金	10,000	国保型奨励費補助金
7.	繰入金	3,000,000	町の一般会計より繰入れ 昨年より1,000,000円増
8.	繰越金	10,000	前年度繰越し金
9.	雑収入	400	
合 計		22,081,300	

歳 出		予 算 額	説 明
款	項		
1.	役 場 費	2,555,748	あらまし国庫補助金でまかなうことが出来る
①	職 員 給	2,489,748	給料、手当、旅費、需用費等11名分
②	会 議 費	66,000	委員手当、旅費、需用費等
2.	保 険 給 付 費	17,021,400	
①	療 養 諸 費	16,058,400	被保険者31,700名 受診率110% 1件当り63点
②	助 産 費	365,000	1件 500円 730件分
③	哺 育 費	438,000	1件 600円 620件分
④	葬 祭 費	160,000	1件 500円 320件分
3.	保 健 施 設 費	1,335,800	保健婦給料、手当、旅費、需用費等7名分
4.	財 産 費	5,000	
5.	公 債 費	55,000	一時借入金の利子
6.	諸 交 出 金	1,061,600	
①	負 担 金	253,600	県連合会町村負担金
②	納 税 奨 励 費	360,000	納税組合への奨励金
③	預 託 金	317,000	県保振興資金として県へ預託
④	そ の 他	131,000	徴収費、趣旨普及費、過年度支出金
7.	予 備 費	46,752	
合 計		22,081,300	

全町で二百十八世帯

町では、四月二十五日と五月一日の両日、つぎの三条件をそなえた二百十八の健康世帯を、地区毎に支所にまねいて記念品を贈呈し、国保への協力に謝意を表し、健康をお祝ひした。

健康家庭
柿岡地区（二十名）
加美七之亟、北岡銀次郎、大久保はる、高橋キヨ、井畝太郎、平野常次郎、高橋りん、青木利、青木春吉、井野よし、飯村辰之助、渡田三郎、片岡角太郎、滝田

	33 年度 一世當り	33 年度 一人當り
全國平均	3,800 ^円	1,050 ^円
平 均 市	3,000	600
浦 市	3,192	698
石 岡 市	2,464	476
美 野 里 村	2,320	430
出 島 村	2,500	441
千 代 田 村	2,400	432
新 治 村	2,700	451
八 郷 町	2,000	348

私たちの町では社会福祉協議会が主体となつて、今年も五月一日より向う一ヶ月間の赤十字運動をはじめました。運動目標額は二十六万一千円で、各地区婦人会や区長さん

この運動で集つたお金は、思ひぬ災難で困つている人々や、けがをされた人たちなどの厚生福祉事業など、いわゆる赤十字運動に使われるものです。

昭和32年		昭和33年		比較増減	
大麥	町 53.88	町 61.50		町 7.62	
	畑 628.80	畑 595.74		△ 34.06	
	計 682.68	計 657.24		△ 25.44	
ビール麥	町 7.12	町 8.79		町 1.67	
	畑 83.71	畑 139.31		△ 50.60	
	計 95.83	計 148.10		△ 52.27	
裸麥	町 9.91	町 6.51		△ 3.40	
	畑 64.91	畑 46.99		△ 18.01	
	計 74.82	計 53.41		△ 21.41	
小麥	町 29.98	町 27.36		△ 2.62	
	畑 896.54	畑 872.96		△ 23.58	
	計 926.52	計 900.32		△ 26.20	
合計	1779.85	1759.07		△ 20.78	
らい麦 えん麦	2.39	3.44		1.05	
なたね	町 107.17	町 78.21		△ 28.96	
	畑 93.95	畑 89.14		△ 4.81	
	計 201.12	計 167.35		△ 33.77	
馬鈴薯	町 5.91	町 5.35		△ 0.56	
	畑 87.13	畑 82.99		△ 4.14	
	計 93.04	計 88.34		△ 4.70	

△印は萬つた面積

本菊次郎、塩谷長次郎、広瀬喜雄、飯島喜一、海老沢藤太郎、木崎栄、木崎久子、塚本隆、勝田はる、小倉徳治

久保田角之助、山田政男、

山俊意、磯山新太郎、飯島靖、磯山弘、矢口源吾、大塚さく、大森正、宇田光一、市塚義雄、市塚甚三郎

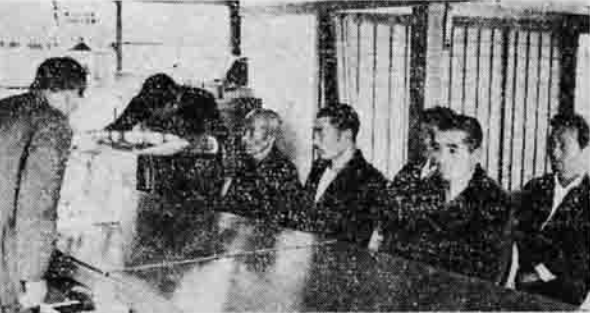
小桜地区（十五名）

前島きよ、関兵吾、松崎紋右工門、斉藤酉夫、助川はる、上林金造、以後崎つる、飯島市太郎、寺田義久、鈴木かつ、鴻巣三之助、鴻巣正、鴻巣義久、石塚重雄、酒井秀一

芦穂地区（五十二名）

路川四郎兵衛、三村留吉、三村くま、谷萩次、野村誠、野村武雄、飯田広次、三輪重太郎、三輪清永、穂積亮、飯塚倉之助、井川忠

郎、谷島はる、長谷川恒夫、長谷川喜代、大川清一、梅沢俊男、岡野竜一、大場能吉、市村兼吉、路川操、鈴木藤寿、奥村謙、郡司隆明、桜井定雄、野村栄一、諸星民之助、友常きよ子、鈴木かね、安達小蝶、秋山寛、小河原元雄、加藤正次、横田正男、萩原茂之助、永瀬いね、永瀬徳治、大塚武雄、広瀬まつ、吉岡りん、野村源次郎、小仁所旭、市村茂義、比賀正左工門、比賀辰雄、稲田祐太郎、比企みつ、柴山一男、磯山俎、真家英



次郎、鈴木重雄、塚田一兵衛、吉田恵造、岡野常三郎、吉沢昭、金子りき、足立寛、横田知男、渡辺要四郎、酒井清四郎、宮保次、峯明、峯太平、鈴木一郎、塚田道峯、峯さた、峯広近、宮助次、臼井たか、小松本清一、中島省三、植木嘉市、鈴木兵吾、植木長一郎、鈴木倉一郎、鈴木倉吉、今橋さだ、鈴木勝次、関孝一、本園大、学、関奎左王門、永井なを、岡崎喜久千、藤田幾之助、関実、小松本四郎、須藤豊、邑、田仲貞三郎、飯田芳夫、広瀬かかし。

瓦会地区（五十六名）

高田茂、菅原たけ、平塚伝次郎、谷島貞次、池田慶四

小桜地区の記念品贈呈

男、鈴木包造、杉山忠三、杉山作三、白田彦一、国谷延生男、国谷益貴、沼尻卯之吉、林勝三、大場茂、谷島信男、稲見善久
なお、次回よりは年度毎に成績で表彰したい。

片野火災のお見舞
(三〇夢のつづき)
(長崎を經由した)

▽金二千五百円 石岡市 石岡協同病院
▽衣類三千余点、その他学用品など 東京都新宿区 新宿区立戸山小学校
▽金五百四十円 本町鯨岡分校児童会
▽衣類二十五点 東京都渋谷区 榎沢弘子
▽反物三十四匹、手拭二百四十本 山本兼吉
▽金二千六百円 新治郡末亡人会
▽金二百円 土浦税務署資産税係 桜井光児

あの頃の疎開学童より片野へお見舞

戦時中、当地へ疎開していた東京の学童たちが、母校の先生やPTAを動かして見舞品を持ちより、大型バスでとどけてきた美談がおきた。

この美談の主は、戦時中、三百五十名の学友と当地に疎開していた東京都新宿区戸山小学校の卒業生で、今では二十三、四才のいい青年になっていた。去る三月二十五日の片野の大火をラジオで知った二、三名の青年が、わざわざ片野に見舞に來て、あの惨状をカメラにおさめてかえり、PTAに報告して見舞品を集めることになったものだから、この青年たちのよびかけで集った山のような見舞品は戸山小学校校長の高田先生、当時の疎開主任の高野先生、PTA会長の斎藤さんが代表して、去る四月二十一日片野にとどけられました。

麦 笛
つかみ合子供のたけや麦苗
遊 刀
暮れてなお麦笛の音のある
一四朗